

小山工業高等専門学校		開講年度	令和04年度 (2022年度)		授業科目	語学研修	
科目基礎情報							
科目番号		0002		科目区分		一般 / 選択	
授業形態		授業		単位の種別と単位数		履修単位: 1	
開設学科		物質工学科		対象学年		1	
開設期		集中		週時間数			
教科書/教材		特になし					
担当教員		岡田 晃					
到達目標							
1.研修の内容を正しく把握できる。 2.研修先指導者の指示に従い、自主的・積極的・計画的に実施できる。 3.実習結果を文書および口頭で正しく表現・報告できる。 4.研修の趣旨を正しく理解して、計画を実施できる。 5.研修の取り組み状況を説明できる。 6.研修の報告書を様式に従って作成できる。 7.研修で実施した内容を整理された形で発表できる。							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
研修の内容を正しく把握できる。		研修の内容を正しく把握できる。		研修の内容を把握できる。		研修の内容を正しく把握できない。	
研修先指導者の指示に従い、自主的・積極的・計画的に実施できる。		研修先指導者の指示に従い、自主的・積極的・計画的に実施できる。		研修先指導者の指示に従い実施できる。		研修先指導者の指示に従い、自主的・積極的・計画的に実施でない。	
実習結果を文書および口頭で正しく表現・報告できる。		実習結果を文書および口頭で正しく表現・報告できる。		実習結果を文書および口頭で報告できる。		実習結果を文書および口頭で正しく表現・報告できない。	
学科の到達目標項目との関係							
学習・教育到達度目標 ⑥							
教育方法等							
概要		語学研修は海外経験を通して、座学や学内による実験実習で得られない経験を得ることを目的とする。					
授業の進め方・方法		<これまでの研修テーマ（研修先）実施例> 研修先および研修テーマは条件によりそれぞれ決まる。 ・イギリスやアメリカ、オーストラリアで15名前後の学生を派遣してきた。 ・ホームステイを通じて現地の生活習慣を直接経験している。 ・語学学校で様々な国から来ている学生たちと交流をしている。					
注意点		現地の語学学校担当教員から評価してもらう。 その評価をもとに本校で最終評価をつける。 毎年参加可能だが、単位は1単位のみとし、参加するたびに単位を与えることはできない。					
授業の属性・履修上の区分							
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週					
		2週					
		3週					
		4週					
		5週					
		6週					
		7週					
		8週					
	2ndQ	9週					
		10週					
		11週					
		12週					
		13週					
		14週					
		15週					
		16週					
後期	3rdQ	1週					
		2週					
		3週					
		4週					
		5週					
		6週					
		7週					
		8週					
	4thQ	9週					
		10週					

		11週					
		12週					
		13週					
		14週					
		15週					
		16週					
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週		
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	0	0	0	0	0	100	100
基礎的能力	0	0	0	0	0	100	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0